



国立西洋美術館  
The National Museum of Western Art

## “物からできた絵”

対象：小学生（大人の方もいっしょにお楽しみください。）

### 保護者の方へ

※本ワークシートを印刷してご利用いただけます。また、タブレット  
やスマートフォンでもご覧いただけます。

※大人の方もお子さんとぜひ一緒に作品をご覧になってください。

※下記の作品について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。→



## 見てみよう①

「どう並べる？」



コルネリス・デ・ヘーム（1631年-1695年）《果物籠のある静物》1654年頃 油彩・板  
44.5 x 72.5cm 国立西洋美術館

◆ どのような果物がありますか？知っている果物はあるかな？



◆ この絵の中で果物はどんなふうに描かれていますか？

かごの中に  
果物が並んでいる

同じ色の果物  
だけがある

中身が見える  
果物もある

どの果物も  
皮はむかれていない

かごがかたむいて  
果物がこぼれている

いろいろな色の  
果物がある

よく見ると、この作品には季節の異なる果物が並んで描かれています。お店に並ぶ果物を思い出してみましよう。例えば、サクランボは6月ごろ、桃は7～8月、ブドウは8～10月ごろでしょうか。レモンは年中買うことができますが、冬の果実です。このように実際にはいっしょに並ぶことのない果物を、作者は頭の中で組みあわせて描きました。こぼれ落ちそうに並んだ色とりどりの果物。レモンは皮がむかれ、実のみずみずしさが伝わってきます。切り込みの入ったイチジクやメロンも彩りを添えています。

◆ もし、この作品にもう一つ果物を加えるとしたら、どんな果物をどこに置きますか？想像してみよう。





## やってみよう

果物や器や楽器などの物が描かれた作品を2点見ました。  
今度は、身のまわりにある物を組みあわせて、写真作品を作ってみましょう。  
テーマを決めてもいいですね。例えば、「あなたが家にいて楽しんでいること」、  
「元の生活に戻ったらこんなことしたいなあ」でもかまいません。

1. 作品に使う物を集めよう。

2. それらを並べてみよう。どんなふうに並べる？

3. 写真に撮ってみよう。

どの角度から撮る？光の感じはどんなふうにする？

4. 写真を撮り終わったら、その写真作品について、例えば、それぞれの物に込めたあなたの思いや工夫したことなどをお家の人とお話ししてみよう。

### 保護者の方へ

※お子さんが何にどんな思いを込めたのか、どんなところを工夫したのかを聞いてみてください。

※ぜひ、大人の方もそれぞれ作って、お互いに作った物についてお話ししてみてください。



## 作品例



### テーマ「ステイ・ホーム」

- 動物や人形が家にいる → 「家にいよう」
- マスク、ハンドジェル → 感染に気を付けよう
- バレエ、バドミントン  
→ 元の生活に戻ったら思いっきりやりたいこと
- 本 → 家で楽しいこと

### テーマ「今、お家にいる気持ち」

- コーヒー、カップ、オレンジ → 朝のめざまし
- 本、耳せん → 勉強に集中
- 手紙 → 遠くにいる人も元気でいてほしい
- ラグ(ベランダに敷いた)、刺し子 → お家での遊び



### テーマ「いつもありがとう！」

- パソコン、プリンター → 家での仕事で大活躍
- ラジオ、コーヒーミル、コーヒーフィルター  
→ ゆっくりとしたのしい時間
- ポット → 最近割れてしまったけど名残おしくて捨てられない...
- 木のチップ → いい匂いで気分転換



《果物籠のある静物》、《ヴァニタス—書物と髑髏のある静物》は国立西洋美術館の常設展にあります。開館したらぜひ、作品を見に来てください。

※2020年5月末現在、臨時休館中です。詳しくは当館ホームページをご確認ください。

<https://www.nmwa.go.jp/jp/index.html>